

【全体概要】

甘みが強く、酸味の少ないナシ新品種「瑞月」(系統名:愛知梨3号)の現地適応性を確認し、あわせて栽培技術
を確立する。栽培マニュアルと収穫用カラーチャートを作成し、産地への導入を推進する。

新品種等の概要

「瑞月」(系統名:愛知梨3号) 令和5年8月以降全国へ種苗供給予定
農研機構開発品種「なつしずく」×本県開発品種「飲月」

開発者: 農研機構及び愛知県農業総合試験場

経緯: 平成17年育成開始

平成30年2月育成完了

令和元年10月品種登録出願公表

品種特性: 8月中旬に生育期を迎える

中生種。甘みが強く、酸味が少
なく、収量性に優れている。

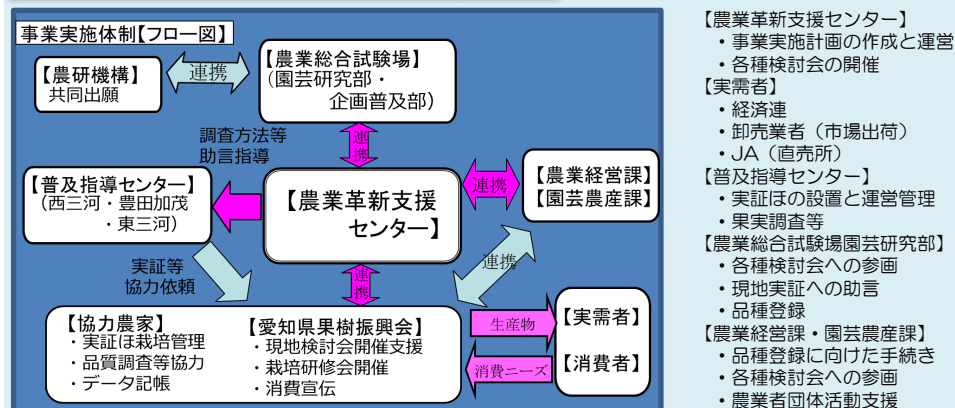


「瑞月」

主な取組内容

- 「栽培マニュアル」及び「収穫用カラーチャート」策定に向け、実証ほを3普及指導センターで設置し、植物成長調整剤、果実袋等に関する生育・品質等の調査を実施(R1 8か所、R2 7か所)
- 「栽培マニュアル」及び「収穫用カラーチャート」の作成(R2)
- 栽培技術研究会の開催(R1 R2各1回)
- 関係機関・実需者等との意見交換(R1 6回、R2 2回)

実施体制図



実績と今後の展開

【実績の概要】

- 「瑞月」のカラーチャートを作成し、CC値2～3で収穫することが適していると確認できた。
 - 植物成長調整剤が果実品質に及ぼす影響を明らかにした。
ジベレリンペースト処理により果実重が増加し、熟期が5～7日前進した。
 - 果実袋が果実品質に及ぼす影響
遮光率の低い二重袋の被袋により、外観良好で糖度の高い果実となった。
 - 令和2年度より愛知県内に苗木が供給され565本が導入された。(0ha→2ha)
- 【今後の展開】
- 関係機関と一体となり、愛知県産「瑞月」のブランド化を推進する。
 - 短果枝主体栽培など、「瑞月」の強みを生かした栽培方法を模索し、さらなる普及拡大を目指す。